

## CEC成果発表会

### 「平成22年度『教育の情報化』推進フォーラム」結果報告

CEC成果発表会「平成22年度『教育の情報化』推進フォーラム」 テーマ：すべての先生・子どもにICT活用力を！ー学校に21世紀にふさわしいICT環境を整えようー（主催：財団法人コンピュータ教育開発センター）を3月4日（金）・5日（土）の2日間、東京都江東区青海の東京国際交流館プラザ平成にて開催致しました。

当推進フォーラムには、全国から教育関係者、教育関連企業関係者ら、初日910名、2日目640名、延べ1550名の参加を得ました。

多様化するICTを日常の教育現場にいかにか活かしていくかについての実践報告や、様々な事例を発表頂き、意見交換を致しました。また、企業によるICT教材の紹介などの情報発信もあり、懇親会にも多くのご参加を頂き情報交換を行いました。

初日の全体会では、当財団理事長 赤堀侃司の主催者挨拶に続き、文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）齋藤晴加様（代理 妹尾剛参事官付参事官補佐）、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課課長 東條吉朗様（代理石田照幸課長補佐）、総務省情報流通行政局情報通信利用促進課課長 安間敏雄様からご挨拶を頂きました。特別講演は、彫刻家 澄川喜一様に「スカイツリーの不思議なかたち」と題してご講演を頂き、基調講演は、文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）齋藤晴加様より「教育の情報化ビジョン策定に向けて」をご講演頂きました。

分科会として、「新学習指導要領における情報モラル教育に向けて」、「教員テレワーク環境：その必要性と効果」、「21世紀型コミュニケーション力の育成」、「新学習指導要領に対応した『ICT活用実践』発表（小学校部会、中学校・高校・中等教育学校・特別支援学校部会）」を実施しました。

2日目の分科会は「新学習指導要領に対応した『ICT活用実践』発表（小学校部会）」と「児童生徒1人1台の情報端末による教育に向けて」、全体会は、当財団理事長 赤堀侃司のコーディネートで、「デジタル教科書のゆくえ」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。デジタル教科書教材に係わる団体、企業の関係者の方々をパネリストにお迎えして議論を頂き、会場からも活発な意見や質問がなされ、参加者の関心の高さが窺え、盛会のシンポジウムとなりました。

会場内では、教育関連企業、ICT関連企業・団体、計43社の製品展示があり、来場された方に最新の情報提供させて頂きました。

最後は、CECとマイタウンマップ・コンクール実行委員会との併催による第17回マイタウンマップ・コンクールの表彰式を開催し、全国の応募から選考された学校・団体に対し各大臣賞・団体賞の表彰を致しました。

## <各会場のご紹介>

### 開会式



### 特別講演



### 基調講演



### 分科会（国際会議場）



分科会（メディアホール）



分科会（会議室1）



総括パネルディスカッション（国際会議場）



展示コーナー 他



マイタウンマップ・コンクール 表彰式と懇親会

